

経営倫理研究所

Epistemic Research Institute of Social Ethics (ERISE エリス)

研究所の概要

1. 目的

「協働進化主義（co-Evolutionism）の考え方に立脚してグローバル・サウス諸国と連携し、情報社会学近代化モデルに基づく「21世紀パラダイム」の世界システム構築を進める

2. 設置期間

2017年4月1日～2027年3月1日

3. メンバー

20名（所長を除く）

4. 活動概要

海外の提携大学／政府関係機関等との共催セミナーの開催、協働プロジェクト／協働研究の推進等



所長

前田 充浩

MAEDA Mitsuhiko

キーワード

経営倫理、近代化、グローバル化、情報社会学、グローバル・サウス、協働進化主義

令和5（2023）年度の研究活動内容及び成果

1. 活動内容

(1) 海外の提携大学／政府関係機関等との共催セミナーの開催

- ①東ヴィサヤス州立大学（8月29日、タクロバン（フィリピン））
- ②フィリピン天然資源省副大臣（8月24日、マニラ（フィリピン））
- ③東ヴィサヤス州立大学（11月7日、タクロバン（フィリピン））
- ④ハノイ経営工科大学（12月6日、ハノイ（ベトナム））
- ⑤DongA 大学（12月12日、ダナン（ベトナム））
- ⑥キリロム工科大学（1月26日、キリロム（カンボジア））
- ⑦ラオス技術情報省デジタル・センター（2月22日、ビエンチャン（ラオス））
- ⑧デラサール大学（3月6日、マニラ（フィリピン）、日本環境省、フィリピン天然資源省との共催）

(2) 応用情報社会学近代文明進化モデル研究

- ①論文『多系的文明進化と近代文明の方向性 A Multidimensional model of the world history of civilizational evolutions』を執筆し、東京都立産業技術大学院大学紀要第17号（2024年3月）に掲載された。
- ②智識文明に関するワークショップを、多摩大学情報社会学研究所との共催で、2023年11月、2024年1月、3月に開催した。

(3) 『流域生態系強化型都市開発』研究

新たな地球環境「適応」策モデルとして『流域生態系強化型都市開発』（Watershed Ecosystem Empowerment Model of Urban Development）を構築し、以下の現地国際セミナーにおいて基調講演を行った。

- ①東ヴィサヤス州立大学（8月29日、タクロバン（フィリピン））
- ②フィリピン天然資源省副大臣（8月24日、マニラ（フィリピン））
- ③東ヴィサヤス州立大学（11月7日、タクロバン（フィリピン））
- ④ハノイ経営工科大学（12月6日、ハノイ（ベトナム））
- ⑤Dong A 大学（12月12日、ダナン（ベトナム））
- ⑥キリロム工科大学（1月26日、キリロム（カンボジア））
- ⑦ラオス技術情報省デジタル・センター（2月22日、ビエンチャン（ラオス））
- ⑧デラサル大学（3月6日、マニラ（フィリピン）、日本環境省、フィリピン天然資源省との共催）

2. 成果

(1) 海外の提携大学／政府関係機関等との共催セミナーの開催により、以下の協働プロジェクトの開始／推進が行われた。

- ①東ヴィサヤス州立大学（8月29日、タクロバン（フィリピン））
 - ・ドライフルーツ・ブランディング・プロジェクト
 - ・流域生態系強化型都市開発
- ②フィリピン天然資源省副大臣（8月24日、マニラ（フィリピン））
- ③東ヴィサヤス州立大学（11月7日、タクロバン（フィリピン））
 - ・ドライフルーツ・ブランディング・プロジェクト
 - ・流域生態系強化型都市開発
- ④ハノイ経営工科大学（12月6日、ハノイ（ベトナム））
 - ・ドライフルーツ・ブランディング・プロジェクト
 - ・流域生態系強化型都市開発
 - ・バイク・ドライバーの騒音障害対策
 - ・携帯電話対応地理特定システムの活用
- ⑤Dong A 大学（12月12日、ダナン（ベトナム））
 - ・蓄電機関車型新鉄道開発
 - ・ドライフルーツ・ブランディング・プロジェクト
 - ・流域生態系強化型都市開発
 - ・バイク・ドライバーの騒音障害対策
 - ・携帯電話対応地理特定システムの活用
- ⑥キリロム工科大学（1月26日、キリロム（カンボジア））
 - ・ドライフルーツ・ブランディング・プロジェクト
 - ・流域生態系強化型都市開発
 - ・バイク・ドライバーの騒音障害対策
 - ・携帯電話対応地理特定システムの活用

- ⑦ラオス技術情報省デジタル・センター（2月22日、ビエンチャン（ラオス））
 - ・流域生態系強化型都市開発
- ⑧デラサール大学（3月6日、マニラ（フィリピン）、日本環境省、フィリピン天然資源省との共催）
 - ・流域生態系強化型都市開発

(2) 応用情報社会学近代文明進化モデル研究において、論文『多系的文明進化と近代文明の方向性 A Multidimensional model of the world history of civilizational evolutions』が発表されるとともに、智識文明に関する累次のワークショップにより、智識文明論の進展を見た（現在、取りまとめの書籍を執筆中。）。

(3) 新たな地球環境「適応」策モデルとしての『流域生態系強化型都市開発』（Watershed Ecosystem Empowerment Model of Urban Development）について、モデルが構築されるとともに、以下の地域に関するプレFS（Feasibility Study）を実施した。

- ①インドネシア・ラブアンバジヨ地域
- ②フィリピン・レイテ島タクロバン地域
- ③ベトナム中部ダナン地域

令和6年度の計画

- (1) 海外の提携大学／政府関係機関等との共催セミナーの開催
以下の海外の提携大学／政府関係機関等との間で共催セミナーを開催する
 - ① キリロム工科大学（カンボジア）
 - ② ハノイ経営工科大学（ベトナム）
 - ③ Dong A 大学（ベトナム）
 - ④ ラオス技術情報省デジタル・センター（ラオス）
 - ⑤ Economic Research Institute for ASEAN and East Asia（ERIA）（ジャカルタ）
 - ⑥ キングモンクット大学（タイ）
 - ⑦ A l a – t o o 大学（キルギス）
 - ⑧ キルギス・ソフトウェア協会（キルギス）
 - ⑨ ナゴルノカラバフ大学（キルギス）
 - ⑩ フィリピン天然資源省（フィリピン）
 - ⑪ デラサール大学（フィリピン）
 - ⑫ マレーシア工科大学（マレーシア）
 - ⑬ バンドン工科大学（インドネシア）
- (2) 応用情報社会学近代文明進化モデル研究
 - ① 世界応用情報社会学会との連携でワークショップを開催する。
 - ② 智識文明論に関する書籍／論文を発表する。

(3) 『流域生態系強化型都市開発』 研究

- ① 3か所程度の地域において、プレFSを実施する。
- ② グローバル・サウス関連の国際セミナーにおいて、モデルを発表する。